

保体(中)部会 理論研修会 終了報告

テーマ	最新の授業実践研究に基づく講演	
日 時	令和7年9月16日(火)	
会 場	石狩教育研修センター	
講 師	中島 寿宏 氏 (北海道教育大学札幌校 教授)	
参加者	41 名	
研修会の様子		講師の中島寿宏先生は、体育授業における教師の指導方法及び児童・生徒への学習効果について研究を行っておられます。特に、授業内での言語的コミュニケーションが運動効果に与える影響に着目し、実際の学校現場を対象と調査研究を精力的に進めていらっしゃいます。
		研修会は、石狩教育研修センターで行いました。総勢 41 名の先生方が集まりました。 前段は、中島先生の経歴を紹介していただきました。日本人学校で勤務されていた時のエピソードに皆さん関心をもって聞いている様子でした。
		講演では、グループに分かれて参加者で交流をしながら研修を深めました。 グループを決める際、集団づくりの視点でグループ編成のポイントを教えてくださいました。 「今、授業について困っていること」というテーマでは、単元計画と本時案のデザインが課題解決の鍵になることを学びました。学習指導要領の文言の表現や保健体育の特性について理解を深めました。また、実技競技では、学習活動ではない技能のみを評価する「実技テスト」を見直す等、評価方法について考える機会となりました。
		最後に熟練教師は「体育の授業中にどこを見ているのか」や「運動が苦手な子の試技中の視線」等を特殊な機材で分析した動画を見ました。児童・生徒ができた時の言葉がけ等を含めて、大変参考となりました。
		質疑応答の時間では、最新の授業実践について参加者から質問や感想を述べていただきました。 特に、特殊な機材で分析した動画について関心が高く、大変面白かったという声を多くいただきました。 本部会の部長である小松先生の総括では「良い授業を3つ見ると自分の中に変化が始まる。雰囲気を知る、違いを感じる、理由が分かる」等が特に印象に残ったことをお話していただきました。 講演後も中島先生と個別にお話をする先生の姿が見られました。今回、中島先生の講演を石教研(中)保体部会の先生方に還元していきたいと考えております。